

# この人に 会いました

エフエム雪国アナウンサー

**田村花絵** さん  
(萩原)

愛称「はなはな」、GODZIE LAND(月火PM4:00~7:00)、モーニングコール(水木AM7:00~10:00)を担当、中継、取材、イベントにと南魚沼地内を駆け回るパワフルアナウンサー。萩原の田村茂さんの次女です。



## エフエム雪国のアナウンサーになったきっかけは

中越地震で、電気が止まりテレビも見られない中、避難先の小学校でエフエム雪国の放送を聞き「こんな

で、親にも相談しないでエフエム雪国の門をたたいたのがスタートでした。

大変なときに、地域やリスナーのために放送をする人たちがいる」ことに驚き、感動しました。その後エフエム雪国のアナウンサーの募集と出会い、もともとマイクを持つのが好きで、バスガイドになりたかったという夢もあったので、親にも相談しないでエフエム雪国の門をたたいたのがスタートでした。

## アナウンサーとしての苦労、喜びを聞かせてください

私は、トンボ採りの網と自転車が似合う元気一杯、野山を駆け巡る子どもだったの、最初は伝える話の方、大人としての知識、常識など戸惑うことばかりでした。笑うこと・泣くこと・怒られることもたくさんありましたが、山本放送局長の「頑張っている姿を人に見せられる仕事は少ないぞ。」という言葉に励まされ頑張ってきました。

最近はいろいろな人から、「私の声がラジオから流れるのを楽しみにしているよ」と声をかけられたり、「ラジオを聴いている、頑張れよ」と励まされ、うれしくなり益々頑張ろうと元気が湧いてきます。

## これからはラジオを通じてどんなことを伝えたいですか

山々の四季の移り変わりが好きなので、春から秋にはバイクに乗り各地のイベントや名所を回り、冬はス

ノーボードで雪国の美しさを満喫しながら、自分自身の体験や知識を増やしていきます。自分の肌で感じた自然の良さと、地域の顔、人と人との繋がりが、人のやさしさを伝えることができたらと思っています。

## ★インタビューを終えて

生まれ育った、大好きな湯沢町に四季を通じて多くの人たちが来て、湯沢の大自然を肌で感じて欲しい。子供達が湯沢に生まれ育つたことに誇りを持ち、住みやすい、生活しやすい町になつて欲しいと語る、元気で明るい田村花絵さんに、上司の山本放送局長も「若さが武器であり、しゃべりに勢いが出てきた。10年後の花絵に期待したい」とエールを送っていました。

南魚沼地域の自然と人が大好きな「はなはな」の今後の益々の活躍と、素晴らしい花婿さんとの出会いを期待し、応援したいと思えます。

広報常任委員会 南雲和夫

南雲 正

編集 後記

絆

「きずな」

明けましておめでとうございませう。本年が皆様にとって、良い年になりますようにご祈念申し上げます。

暖冬少雪といわれた今年、12月中旬順調に降雪があり、スキー場関係者を喜ばせました。しかし、年末年始からの大雪と、長引く景気低迷で入り込み客数は減少しました。観光の町湯沢にとって、スキー産業は要の産業です。低

落歯止めに向けて町、事業者、町民がさらに協力して取り組む必要があると考えています。

1月16日ゴルフの石川遼選手が湯沢を訪れ、地元の小生とクロスカントリースキーをしました。「温かく迎えてくださって感謝しています」。来年も来たいと言っていました。ありがとうございます。ホスピタリティな対応が評価されたのではないのでしょうか。

広報委員 田村正幸

編集

湯沢町議会

広報常任委員会